



せいひ会だより

2009年(平成21年)
4月1日発行
<第108号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



ふるさとや



どちらを見ても



山笑ふ



3月

1-3日: 雑祭り
14日: 誕生会(通所・元亀)
9日: 陶芸教室
15日: 歌の発表会
3月末~お花見

4月

初旬: お花見~八ヶ岳公園~(風和の里)
1日: 年初式・入社式(せいひ会)
8日: 甘茶酌み(通所・丘の家)
11日: 誕生会(元亀の里・通所)
9-23日: 書道教室(風和の里)
1-15日: 書道教室(元亀の里)
13日: 陶芸教室
28日: 総合訓練(翠風)

5月

初旬: 菖蒲湯
5日: 端午の節句
10日: 母の日
13日: 陶芸教室
6-20日: 書道教室(元亀の里)
14-28日: 書道教室(風和の里)
26日: 夜間想定訓練(せいひ会)
29日: 避難訓練(風和の里)
17-20日: 職員旅行(グアム)
28-31日: 職員旅行(ベトナム)

★3月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます★



今回は元亀の里・入江 ツレ様にお話を伺いました。

大正14年、西海町瀬川に長女として生まれる。1歳半ば、父親の仕事の関係で北海道の函館に移り住むこととなり、幼い頃の生まれ故郷の思い出はないそうだ。函館の冬は雪も多く寒かったが、「港町で魚の種類も多いし、いつも新鮮で美味しい魚を食べましたよ」「それに寒い所で採れた野菜は甘くて美味しかったですよ」と話されていた。5人兄弟で、子供の頃は石蹴りやスキー、スケートをして遊んでいたが、「春は桜やスズランが綺麗でね、おにぎりを持って遠くまで歩いて見に行っていました」「海も綺麗でいつも眺めていましたよ」と函館を懐かしんでおられた。

昭和8年、函館の大火で多くの人が亡くなったが、燃え盛る炎で夜空が赤々としているのを家の窓から眺めていたのを鮮明に覚えているそうだ。また、子供の頃のエピソードとして、父親はお酒が好きで晩酌しているのを見て、美味しそうに思いこっそりとお酒を飲んでいたそうだ。「意外と美味しくね、それからお酒が好きになりました」とのこと。「月桂冠」の銘柄が記憶にあるらしい。

20歳の頃佐世保に移り住み、22歳で結婚し福岡で長年生活されていた。妹さんと何十年振りに函館へ行ったが、ビルが建ち並び当時の海辺や町並みの面影はなかったそうだ。しかし、「五稜郭はそのままだったし、函館の夜景は綺麗でしたよ」と話された。

現在、元亀の里に入所されているが、「腰や膝や身体のあちこちが痛くてね、病気をしてからばったりとお酒も飲まなくなったし、身体が弱った証拠でしょうね」と元気で歩いていた頃を懐かしんでおられた。また「昔は弱ったら养老院にやられてあまり長生きできなかったけど、今は福祉も充実していて何も不自由ありません」「今の世の中は幸せです」とのこと。「テレビも新聞も見ないので世の中のことが分からなくなってきてるけど、受診などで車の窓から眺める景色が新鮮でいいですね」と、それが唯一の楽しみたそうだ。「今はゆっくりとしていきたい」と丁寧な口調で答えて下さいました。

ゆっくりとした日々を送って下さい。お誕生日おめでとうございます。

Vitality Space

バイタリティー・スペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの活動にはこのバイタリティーの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

うたの時間

窓から見る松景 元氣いっぱい きれいだな 今井 サヨ	風吹きて 恋逃げた 花咲かず 竹下 晶子	春の風 私に風は いつ吹くか 川添 隆幸	八十路越え 学ぶ事多し デイケア 小幡 タミ
-------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

中心 本村ムツ子	天地人 山田実	天地 柴原トミ子	心気 風和谷川エツ	心気 風和田坂晴子
芸術 森本浩太郎	春雨 元龜辻ヨエ	春 爽月岡明子	春 元龜小川ハツ子	春 元龜村山美志代

元龜の里職員作	グループホーム作	爽月谷口サト	翠風松尾カネ
		通所利用者作	元龜の里職員

ひな祭り



下の写真は、元龜の里の三人官女！？なんとびっくり3人合わせて307歳。
左の写真は、グループホームでの一枚。お内裏様とお雛様は森山ご夫妻にお願いしました。いつでも仲のいいお二人です。



平成21年度年初式・入社式

4月1日。せいひ会の年初式・入社式が行われました。以下は、理事長からの挨拶を引用します。



平成元年生まれの子どもも成人して大人になりました。せいひ会も平成元年に社会福祉法人を設立し、母体である介護老人保健施設「元龜の里」が翌2年5月に開設、そして今年創立20周年を迎えます。「元龜の里」という一つの事業所から始まり、20年後の今日、老人保健施設、生活支援ハウス、特別養護老人ホーム、グループホームなどを中心に、介護保険事業を展開してまいりました。大きな事故もなく、事業運営が出来ましたことを感謝すると共に、役員の皆様方の御協力と応援、職員の皆様の頑張り、汗と笑顔、努力に感謝します。

平成21年4月1日に入社される皆さん、20年度に入職された皆さん、今日の時点で、職員総数139名、それに役員の方々、社会保険労務士、税理士、顧問弁護士の先生方、協力病院の先生、委託業者さん、いろんな方に支えられ、社会福祉法人せいひ会の今日があります。

社会人としてのルールは当然のことながら、社会福祉法人せいひ会の組織人として組織のルールに従い、組織に必要とされる人になってください。

役職者の皆さん、役職者としての意識、責任感、チームの力を最大限発揮するリーダーシップを持ってください。あなた方には、問題に直面したときの適切な対応、解決する力が要求されます。部下を指導、育成し、人材力、組織力を高めることが出来るのは、現場に近い役職者の皆さんです。

職員の皆さん、自分の目で見ると、自分の耳で聞いてみる、自分自身で納得するまでやってみる、三つの「みる」を提案します。

情報を収集し、そして体験し、自身で判断し行動することを学んでください。

- ・弱い自分なら、強い自分になればいい
- ・やれない自分なら、やれる自分になればいい
- ・貧しい自分なら、豊かな自分になればいい
- ・人生を生きて、悩んで、苦しんで、挑んで
- ・すてきな自分と言う人間をつくれればいい

ここにお集まりの職員の皆さん方が、お年寄りの皆さん、そのご家族、そして職場の仲間から必要とされる笑顔の似合う人になってくださいますよう御願います。

そして、この4月から介護保険制度の改定が行われ、いろいろな条件付で介護報酬の改定が実施されます。せいひ会においてもですが、介護事業者にとりまして大きな節目の年になります。

選ばれる施設、選ばれる事業所を目指し、さらなる飛躍の年になりますよう、気持ちを新たに、役員の皆様、職員の皆様、どうぞよろしく御願いたします。

ヤ・エの丸 MENU



えびしゅうまい
豆腐を加え、歯触りに一工夫。やらかい中にもえびのプリプリとした食感が楽しめる一品です。

ケアマネ 敬美の独り言

せいひ会が誕生し20年目を無事迎えることが出来ました。これもひとえに皆様方のご支援のお陰だと感謝しております。本当にありがとうございます。これからも宜しく御願いたします。と硬い文章はこれくらいにして、実は今度職員旅行があるんですが、今回はなんと☆海外☆ということでは「どこに行きたいかのアンケート」をとっている最中ですが、職員はもうウキウキ気分。パスポート取得に走り回ったり、昼休みには「何を買おうか。どこの観光地を回ろうか」等、早くもあれやこれやの大騒ぎ。私も身も「ブランド品は高いけん、パッタもんば見つけんば…」と騒いでいます。これを読んでいる職員は「あんたが、一番騒ぎよる!!」と私を指差していることでしょう。しかし、ほんと楽しみ!!!ただ、私は飛行機と船が大の苦手で。どうしても「鉄の塊が、空を飛ぶ。水に浮く。」ことが理解できません。しかしながら海外に行く為にはどちらかを利用しないといけないので、今回は一大決心。「鉄の塊」に命を預ける覚悟をしました。旅行当日の機内で「お経を唱え」「いや〜な汗をかいている」自分が想像できます。旅行後記はまた今度!!それでは、行って来ま〜す!!!! (敬)



編集後記

「山笑ふ」という季節。この春に輝く花々や、ルーキーさんたちにぴったりの言葉などと、思います。もちろん皆さんの笑顔にも。

そして、この花たち。なんの花がわかりますか？上から、もみじ、かりん、ぐみの木に咲いた花です。花が主役じゃないけれど、こんなにキレイな花をつけるんですね。(佳)